

令和3年度（令和2年度分）八重瀬町教育委員会の主要施策に対する外部委員の評価と提言

3名の評価委員の意見を集約し、以下、個別の政策、施策について評価と提言を行った。
各番号は、点検・評価表に準ずる。

【学校教育課】

令和2年度においては、コロナウイルスの影響で事業の中止、縮小等の様々な影響があったと考える。
次年度以降は、ウィズコロナも念頭にいれ、計画、実行をしていただきたい。

I 学校教育の充実

1. 学力向上推進

保幼小連携について、町コーディネーターが中心となり、会議、公開保育などの取り組みが実施されていることは評価に値する。

リーフレット・事例集については、HP等での公開し、取り組みを広めていただき、今後も子ども達や保護者が不安なく小学校へ接続できるよう、関係機関との今後の連携に期待する。

また、小中の連携も積極的に実施していただきたい。

2. 学力向上支援事業

配置計画において、前年度16名が今年度14名、配置人数も12名から11名、配置率においても、78%から75%に下がっていることから次年度は計画通り配置できるよう人員確保に努めていただきたい。

3. 特別支援員配置事業

前年度より配置率が配置計画において、前年度36名が今年度30名、配置人数も25名から24名、配置率においては、69%から80%と向上している。学習支援・特別支援共に現場の教諭の負担軽減や、学力向上につながると思うので、引き続き計画通り配置できるよう人員確保に努めていただきたい。

4. 教育相談支援コーディネーター等配置事業

家庭・学校・教育委員会・関係機関との連携のもとに問題行動の未然防止、早期発見及び早期解決、児童生徒の問題行動の解決・改善についての取り組みは評価に値する。

ICT環境が進む中、オンラインでの相談等の取り組みについても検討いただき、今後とも、関係機関等との連携を強化し継続していただきたい。

5. 外国語指導強化事業

小学校では英語に対する興味・関心が高まり、中学校では県学力到達度調査において一定の成果をあげることができたとあるが、具体的にどのような活動を行うことで成果をあげることができたか具体的事項を示すことを提案する。

6. 八重瀬町 ICT 支援員配置事業

GIGA スクールに対応するため、タブレットの配布等の取り組みが進んでいることから、児童等への校内での活用も含め、保護者への ICT 活用（家庭学習等）や不登校児童へのオンライン授業などの活用も期待したい。文科省等の施策をもとにし、八重瀬町の GIGA スクール構想の実現に向け、教師向け、児童・生徒向けに指導や学習ステップを示したビジョンを示すのはどうか。

7. 八重瀬町生徒指導研修会

コロナ禍において行動制限がある中、目には見えない「いじめ」の実態把握できるような取り組みについても今後期待したい。

8. 教育支援委員会

保幼小接続委員会や特別支援審査会（保育）との連携し、より丁寧な活動へとつなげていただきたい。

9. 学校カウンセラー配置事業

スクールカウンセラーの配置については学校だけでは解決が難しい課題の解決・改善につなげることができており評価に値する事業だと考える。今後も継続していただきたい。

12. 切磋琢磨学力パワーアップ事業

新型コロナウイルス拡大防止のため中止はやむを得ない事業であったが GIGA スクールにおいて 1 人 1 台端末が配布されていることから、オンラインでの対応も検討していただきたい。

14. 学校施設維持補修事業（大工業務）

児童生徒が安心して学校生活を送れるような環境整備は必要な取り組みである。今後も継続していただきたい。

16. 学校給食

前年度より収納率が下がっているが、過年度分の収納率が向上している。今後の収納率の向上に期待したい。

【生涯学習文化課】

令和 2 年度においては、コロナウイルスの影響で事業の中止、縮小等の様々な影響があったと考える。次年度以降は、ウィズコロナも念頭にいれ、計画、実行をしていただきたい。

II 生涯学習の充実

1. 社会教育の充実

コロナ禍で活動の制限がある中で、工夫しながら実施されている。

乳幼児への取り組みが薄いと感じる。生涯学習の定着は、人格形成の乳幼児期にも関係があることから、関係機関との連携を行い、事業を進めていただきたい。

2. 青少年健全育成事業

コロナ禍で活動の制限がある中で、工夫しながら実施できたことは評価に値する。

とくに、人材交流事業については、中止となっているが、コロナの状況を確認しながら、継続していただきたい。

3. 公民館運営事業

具志頭分館の利用率が低い。サークルを増やしての活用やエイサー練習のホール使用等に利用させることを提案する。

4. 図書館事業の充実

読書活動（ファミリー読書）の推進は、学力向上ともつながり、大変有益なものとなるため、今後の活動に期待したい。

7. 文化振興事業

町内にある様々な伝統行事の1つに綱引きがあるが、その綱の原料となる稲ワラが町内にはない状況でいつか消滅するものと思われる。その対策として水田を確保し、田植え、稲刈りを小、中校生徒も参加して貰い収穫したコメは給食に使用することで、町内の文化の学習、情操教育等につながることから、今後の活動につなげていただきたい。

8. 八重瀬町史編纂事業

町史等はとても貴重な資料となると考える。紙媒体だけでなく、データとしての資料も残すことで長期保存にも繋がり活用が増えるため、両方での発刊の検討をお願いしたい。

【スポーツ振興課】

各スポーツへの取り組みは、生涯学習などとも密接な関係にあることから、今後もプロチームの誘致・施設整備・運動教室、企画など継続していただきたい。令和2年度においては、コロナウイルスの影響で事業の中止、縮小等の様々な影響があったと考える。次年度以降は、ウィズコロナも念頭にいれ、計画、実行をしていただきたい。

Ⅲ 社会体育の充実

3. 八重瀬町長杯ゲートボール大会

コロナの状況を確認しながらの開催は評価に値する。施設の整備拡充も含め検討していただきたい。

8. 男だけの水泳教室

男性の水中教室への参加が課題であった中、企画・実行したことは評価に値する。

公民館等にもパンフレット（利用時間、料金表等）を配布し事業の広報に努めていただきたい。

10. ウォーキング教室

前年度より参加者が増え、当初の目的は概ね達成できており評価も A に改善されている。継続していただきたい。

14. 体力調査・運動能力調査

令和 2 年度「体力調査・運動能力調査」は新型コロナウイルス拡大防止のため中止しとなっているが、次年度以降においては、区長会等へ参加呼びかけ、多くの町民が参加できるよう実施していただきたい。

19. 八重瀬町サッカーキャンプ事業（一括交付金）

コロナ禍で制限のある中、誘致できたことは評価に値する。今度の事業効果や町内消費などに期待したい。

20. 運動公園施設等整備事業（一括交付金）

新型コロナウイルス感染症による県内への渡航制限等により、キャンプ実施が困難だったため前年度より評価が下がったと考えられる。引き続きキャンプ誘致、八重瀬町への観光客増加につながるよう努めていただきたい。

28. 八重瀬町スポーツ観光交流施設整備事業

サッカー場、フットサル場の FC 琉球と町民の使用時間の策定、隣接するパークゴルフ場の町民の料金等の策定等早急に決定する事を望む。